

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 1月 9日

事業所名: みんなの居場所ニーム

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	多機能型事業所であり、学習スペース運動スペースは利用者に対して十分である。	はい 100%	2歳から18歳まで、1日10人であるので、児童発達支援クラス、放課後等デイサービスクラスがあり、1クラス少人数となる。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき職員を配置している。	はい 100%	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリー化できていない場所もあります。個々に対応しています。	はい 98% どちらともいえない 2%	個別に対応させていただきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもの特性に合わせた環境整備と空間の構造化に努めている。	はい 100%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	各クラス振り返りと話し合いをもとに次回のクラスの時間に反映させている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部講師などの意見を聞いて業務改善している。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部より、逐次個別に勉強できるシステムにしている。また、外部研修、内部研修などしている。		
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と懇談、相談時間を持っている。送迎の際に話をしている。子どもについて分析して個別支援計画を作成している。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の活動、集団活動を組み合わせて個々の子どもに必要なプログラムの提案、個別支援計画にしている。	はい 100%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目を挙げ、具体的な支援内容を記載している。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	各クラスサービス内容の確認やツールの使い方などを確認し、その日の子どもの状態によって適切な支援につなげている。	はい 100%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	各クラスのスタッフとともに、プログラム内容を考えている。自由に提案できるように、その都度話し合いをしている。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	多機能事業のために年中来所時間は同じ。変らない支援ツールで心身の安定・安心をはかっている。		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムの内容は個々にあったものを継続して行っている。使用ツールは固定しているがコミュニケーションの強化に努めている。		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	プログラム内容について子どもたちがどうなるかをロールプレイして話し合っている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	自分たちが支援する前に考えていたことがどうであったかの振り返りなどを記録しながら話し合っている。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援に関しての記録は、支援終了後記録用紙に必ず書き、今後の支援の検証や改善を考慮している。また、月1回、保護者に記録を提示して確認をしてもらっている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施、また懇談などを通して計画の見直しをしている。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	電話で相談支援事業所の担当者会議などしている。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所等訪問で各機関と電話、もしくは訪問で情報を共有し支援につなげている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報収集、提供など保護者と相談をしながら活動している。	保護者とともに学校を卒業後の進路などについて相談させていただいています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	ZOOMやオンライン、その他専門機関での研修を行っている。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の人との交流、手話のイベント交流などはあるが、保育所や児童クラブなどとの交流はおこなっていない。	はい 51% どちらともいえない 6% いいえ 4% わからない 37%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ろうあ協会に協力をいただき、手話のお茶会、また、イベントなど運営している。		障がいがあってもなくても、色々な人が楽しめる居場所の提供やイベントの運営を考えている。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明をしている。支援内容などは個別に対応している。	はい 100%	今後も丁寧な説明を心がけます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎の際、毎回すぐに相談できる体制を整えている。保護者に対しては何かあればすぐに連絡するように伝えている。	はい 100%	今後も丁寧な説明を心がけます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今年度からニーム主催でペアレントトレーニングをしているが、募集範囲を児童発達支援に限っているので、放課後等デイサービスにも範囲を広げようと考えている。	はい 90% どちらともいえない 2% いいえ 2% わからない 6%	児童発達のみでペアレントトレーニングをしている。放課後等デイサービスの方にも今後プログラムしていく予定。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎の際、各スタッフが内容の説明を保護者にしている。保護者との会話は、他のスタッフにも共通理解をするために話をして今後の課題、支援などにつなげている。	はい 100%	保護者と一緒に子どもたちのことを考えさせていただけるように今後も努力いたします。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時、または悩みや困りごとなどはするに相談できるようにしている。メール、電話対応など。	はい 100%	今後も次の日に持ち越さない、瞬時の対応を心掛けたいと思っています。
	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者サークルなど行事の予定は教室に掲示と口頭で伝えているが、漏れがあるよう。	はい 78% どちらともいえない 4% いいえ 4% わからない 8%	掲示のみ不備が見られるので、今後は、スタッフが伝えたかどうかの確認を徹底したり、配布物に入れてお知らせしようと考えている。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があれば、迅速に対応させていただきまます。	はい 80% わからない 20%	苦情は今のところない。今後も何かあれば、すばやく対応できるようにいたします。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子ども達、保護者ともに毎回の状態を見ながら話をさせていただいたたいます。	はい 96% わからない 4%	利用したばかりでわからないという答えをいただきました。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	今年、ホームページの活用をせず、教室内の掲示にしました。	はい 87% どちらともいえない 2% いいえ 2% わからない 9%	送迎の時間を有効にしようと、掲示にしたのですが、今後は、配布物に入れる、もっと、口頭で伝える時間をもつ、またSNSを利用したいと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のある書類は鍵付きロッカーに保管しています。パソコンには2重のセキュリティを入れています。	はい 98% わからない 2%	契約時にご説明をしています。再度周知できるように考えます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルがあります。スタッフは周知しております。	はい 55% どちらともいえない 4% いいえ 2% わからない 39%	周知不足です。今後は、各クラスともに周知できるように考慮します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	曜日によって訓練に差異があります。	はい 55% どちらともいえない 4% いいえ 2% わからない 39%	プログラムに入れることが出来るクラスとそうでないクラスに差異が出ます。今後は、どのようにプログラムに入れるのかを考慮します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修に参加しています。また、社内研修をしています。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束することはないのだが、身体拘束の内容を理解するための研修は行っている。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師からの指示所に基づくケースはない。保護者からの聞き取りをもとにアレルギーについては十分な注意をはらい、知識の収集に努めている。		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットなどは、日々の記録で注意喚起している。		ヒヤリハットになる前に、状況、環境の整備を考えています。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		はい 98% どちらともいえない 2%	利用したばかりでわからないとかかれています。楽しみだと言ってもらえるように、今後もスタッフ一同、子ども達、保護者の居場所として、寄り添える支援に努めます。
	2	事業所の支援に満足しているか		はい 100%	子どもたちの気持ちにそった支援内容を考えて、子どもたちが社会に出て楽しく生活できるようにするためのコミュニケーション力をつけられるようにサポートしていきたいと思っています。